

透析室スタッフ必修ですよ！

リン・カルシウム管理まるわかり教室

プランナー：加藤明彦 浜松医科大学医学部附属病院

特集

リン・カルシウムの管理目標値や自己管理の方法、慢性腎臓病に伴う骨・ミネラル代謝異常(CKD-MBD)になると、どんなことが生じるのか、どう改善・予防すればよいのかなどについて、スライド+短い文章のセットで解説します。また、症例を交えて、高・低リン血症によって引き起こされる症状を紹介し、本特集と連動したオンラインwebセミナー「リン・カルシウム管理まるわかり教室(仮)」(8/28<日>開催予定※別料金)のテキストとしても利用されるため、幅広い人に手に取ってもらえます。

●リン・カルシウム

加藤明彦 浜松医科大学医学部附属病院

- 1 生物の進化と骨
- 2 カルシウム(Ca)の自己紹介
- 3 血中のカルシウム(Ca)
- 4 カルシウムのバランス
- 5 リンの自己紹介
- 6 リンのバランス
- 7 食事からのリン・カルシウム摂取
- 8 慢性腎臓病に合併する骨・ミネラル代謝異常(CKD-MBD)
- 9 CKD-MBDによって身体ではどんなことが起きますか？
- 10 線維性骨炎
- 11 線維芽細胞増殖因子23 Fibroblast growth factor-23(FGF23)
- 12 FGF23はリン利尿ホルモン
- 13 腎機能の低下により血清リンとカルシウムの調節機構が変化する
- 14 CPP(calciprotein particle)
- 15 CPPはCKDの進行と関連する
- 16 リン制限の考えかた
- 17 CKD患者における血管石灰化の機序
- 18 冠動脈石灰化の特徴
- 19 血管石灰化スコアと生存率
- 20 管理目標
- 21 血清リン、カルシウム、PTHと3年予後
- 22 血液透析患者の新規栄養評価指数
- 23 CKD-MBDの治療薬
- 24 血清リン・カルシウムの治療管理

広告締切

申込締切日：2022.5.30 版下出版社必着：4C 2022.5.30 1C 2022.6.10 綴込 2022.6.15

広告料  
(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
目次裏	カラー	1頁	180,000	257×182【断ち切り】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220×150
記事	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチシロありの印刷物

取扱い広告代理店

● 広告原稿は完全データでお願いします。 ※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。  
 ● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。  
 ● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。  
 広告に関するお問い合わせは、上記の取り扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド  
 TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。

透析室スタッフ必修ですよ！

リン・カルシウム管理まるわかり教室

プランナー：加藤明彦 浜松医科大学医学部附属病院

- 25 高リン血症対策
- 26 食事の影響
- 27 血清アルブミン3.0 g/dL、血清リン6.0 mg/dLの血液透析患者に対して、  
あなたは「たんぱく質摂取量を増やす」、あるいは「変えない／減らす」のいずれで指導をしますか？
- 28 マグネシウムはリン毒性を緩和する
- 29 韓国では高リン血症は生命予後と関連しない
- 30 血液透析 vs. 食事摂取
- 31 透析処方と週当たりのリン除去量
- 32 透析時間延長で血清リンが低下
- 33 リン吸着薬が約半数
- 34 血清リン値とリン吸着薬の錠数
- 35 リン吸着薬の処方錠数
- 36 飲み忘れの回数(／月)
- 37 飲み忘れが多いとリンが高い
- 38 リン吸着薬の飲み忘れ
- 39 リン吸着薬は服薬アドヒアランスが最も悪い
- 40 リン吸着薬の課題
- 41 リン吸着薬の一日錠数
- 42 リン吸着薬の用法と消化器症状
- 43 標準的 vs. 厳格なリン管理
- 44 厳格管理群で冠動脈血管石灰化指数の増加が抑制される(RCT)
- 45 低リン血症≡食事不足 血清リン<3.5 mg/dL
- 46 低リン血症による生命予後悪化は栄養障害のためである(DOPPS)
- 47 GNRIが低いと低リン血症は死亡リスク
- 48 低リン血症は透析患者の生命予後と強く関連
- 49 韓国では高リン血症は生命予後と関連しない
- 50 二次性副甲状腺機能亢進症
- 51 二次性副甲状腺機能亢進症の発症・進展
- 52 副甲状腺の腫大

広告締切

申込締切日：2022.5.30 版下出版社必着：4C 2022.5.30 1C 2022.6.10 綴込 2022.6.15

広告料  
(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
目次裏	カラー	1頁	180,000	257×182【断ち切り】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220×150
記事	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチシロありの印刷物

取扱い広告代理店

- 広告原稿は完全データをお願いします。 ※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。
  - 入稿の際は、**広告データ、出力見本(確認用PDF)**をご準備ください。
  - 広告掲載スペースには、**断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。**
- 広告に関するお問い合わせは、上記の取り扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド  
TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。

透析室スタッフ必修ですよ！

リン・カルシウム管理まるわかり教室

プランナー：加藤明彦 浜松医科大学医学部附属病院

- 53 摘出副甲状腺の結節性部位では染色性低下
- 54 二次性副甲状腺機能亢進症の症状
- 55 PTH上昇と高リン血症合併
- 56 PTH上昇≒たんぱく質摂取量
- 57 二次性副甲状腺機能亢進症治療薬
- 58 エテルカルセチドによる投薬変化
- 59 副甲状腺摘除術の適応

●リンの食事管理

石田淳子 金城学院大学

- 1 リンの食事・栄養管理
- 2 透析患者の栄養基準
- 3 目安量を計算する
- 4 食事でたんぱく質、リンの量を把握する
- 5 他の栄養もチェック
- 6 1日の適量はどのくらい
- 7 たんぱく源は何から摂ればよいか
- 8 リンは食品添加物として幅広い食品に利用
- 9 リン/たんぱく含有比\*が\*高い食品は注意
- 10 日本の透析患者のたんぱく、リン摂取状況

連載

「スタッフなら知っておきたい 透析患者の災害対策」  
「透析患者のリアルごはんに管理栄養士がやさしくアドバイス！」

読者ターゲット

ナース、臨床工学技士、栄養士

ADポイント

透析現場では主要読者であるナースの声を重視する傾向が非常に高く、関連商品

広告締切

申込締切日：2022.5.30 版下出版社必着：4C 2022.5.30 1C 2022.6.10 綴込 2022.6.15

広告料  
(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
目次裏	カラー	1頁	180,000	257×182【断ち切り】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220×150
記事	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タテシロありの印刷物

取扱い広告代理店

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。  
● 広告原稿は完全データをお願いします。 ※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。  
● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。  
● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。  
広告に関するお問い合わせは、上記の取り扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド  
TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。